

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「地域の皆様、いつもお世話になっております」

日頃より町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき心よりお礼を申し上げます。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行ったため、様々な事業が変更・中止を余儀なくされましたが、多くの地域の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただき、子どもたちの健全育成を進めてまいりました。これからも、学校と家庭・地域の連携を大切にしていきたいと考えております。

学期中は、新型コロナウイルス感染症対策をしていただきながら、暑い日も寒い日も各地域で、子どもたちの登下校に合わせて、防犯・安全活動を実施していただきました。「子ども安全パトロール員」の方々の積極的な見守りや声かけにより、子どもたちの安心・安全な登下校が保たれています。本当にありがとうございます。

5年目を迎えた「さとしょう未来塾」につきましては、こちらも予定通りの事業を行えず大変残念でしたが、来年度に向けて地域の方々をはじめ、各種団体や町内企業の方々に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をお願いしたいと考えております。

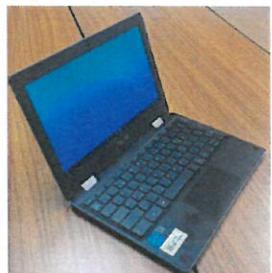
さて、来年度は、中学校学習指導要領の本格実施や、GIGA（ギガ）スクール構想実施に伴う、小中学生全員へのパソコン端末の貸与に伴い、学校での学習のスタイルは変化をしていきます。これからも、教育委員会と学校が協力しながらより良い教育の実現を目指して努力をしていきます。

引き続き、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校・家庭・地域との連携を深めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：事務局長 小寺 大輔)

GIGA スクール構想推進に向けて

GIGA スクール構想推進の2本柱である、「高速通信環境」「1人1台端末」の整備が終盤を迎えています。高速通信環境の整備がほぼ終わり、あとは、1人1台端末が搬入を待つばかりです。実際には、4月からの運用になりますが、子どもたち一人ひとりに、アカウント（インターネット上でサービスを受ける権利）が配布され、様々なソフトウェアを利用できるようになります。例えば、一人ひとりの学習の理解度に応じた問題が提示されるソフトウェアや、グループでの話し合いをパソコン上で行えるソフトウェアなど、場面や状況に応じた学習が進められるように、教職員と使い方の研修を進めながら準備をしています。



導入される端末

第53回里庄町立志式 「夢に向かって努力します！」

里庄町では、今後の人生を考える機会として、里庄中学校2年生を対象に、立志式を開催しています。毎年2月に実施しており、今年度は94名の生徒が参加しました。

記念式典では、加藤町長から「多様化する時代で自分に合う目標を見つけ、努力してほしい。」と式辞があり、杉本教育長から記念品のトートバッグが贈られました。また、立志を迎えた生徒の代表として、田中悠真さんが「何事にも挑戦し続け、仲間と励まし合いながら、夢に向かって努力します」と宣言しました。

式典後は里庄中学校の卒業生で東京大学大学院総合文化研究科 佐藤守俊 教授から「生命の設計図を書き換えるゲノム編集」と題してオンラインで講演がありました。佐藤先生はご自身の研究内容と生徒からの質問に回答し、目標を設定して努力することの大切さを伝えました。

(文責:吉川 大和)



立志の誓いを述べる様子

[里庄町歴史民俗資料館]

里見山中遺跡展示コーナー新設しました！！

令和2年6月、資料館に新しい展示ケースを設置しました。展示ケース内には、里見山中遺跡から出土した遺物を展示しています。

この遺跡の発掘は、岡山県古代吉備文化財センターの指導を受け、平成25年4月から5月にかけて、町内で行われた初めての本格的な発掘調査です。

発掘調査地域の字名から里見山中遺跡と名付けられたこの遺跡からは、中世の窯跡(かまあと)や土器片が多数出土し、穴(土坑<どこう>)や溝、建屋(たてや)と思われる柱穴等の遺構が発見されました。土器片は、内耳鍋(ないじなべ)・鍋・すり鉢が全体の約80%を占め、その他に、皿・火舍(かしゃ)(火鉢)・鉢・羽釜・甕(かめ)などが出土しました。

これらの遺物が、形状や年代測定により16世紀以降のものであると思われることから、里見山中遺跡は中世・近世の生産遺構であり、瓦質土器を生産する工房の一端を担っていたことが明らかになりました。出土した窯は、本町大原地区で制作されてきた大原焼の窯と類似した特徴を有していて、深い関わりを持っていたと考えられています。資料館には大原焼も展示していますので、形状や色などをぜひ比較してみてください。

(文責:山下 直人・小椋 美紀)



火舍



内耳鍋



内耳鍋(耳部分)

展示資料

～スマートフォン・ゲームの適切な利用について～

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に進級や進学する時に、スマートフォンやゲームを持ち始めることが多いと聞いています。ゲームに動画、SNSなど、スマートフォンは子どもにとって魅力がいっぱいです。使い始めると自分でコントロールすることが難しくなります。手遅れになる前に、ルールを守れる環境をつくった上で、使うことが大切になります。お子様が持ち始める時に、親子でしっかりと話し合い、ペアレンタルコントロール（利用時間制限、アプリの制限等）を活用して、親子でしっかりと話し合ってルールづくりを進め、安全・安心に日々が送れますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

（教育長 杉本 秀樹）

里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

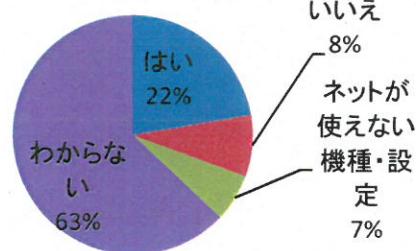
里庄町教育委員会では、今年度の12月から1月にかけて、町内小学校4年生から中学校3年生までの児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使い方について実態調査を行いました。その結果から気になる質問項目について紹介します。

子どもを守るのは、社会の大半全体の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。**ご家庭で、お子様としっかりと話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。**

（文責：天野 正彦）

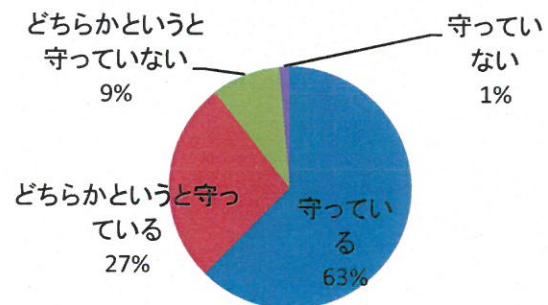
小学校（4年生～6年生）

フィルタリング設定をしているか



フィルタリング設定をしている子どもが約2割

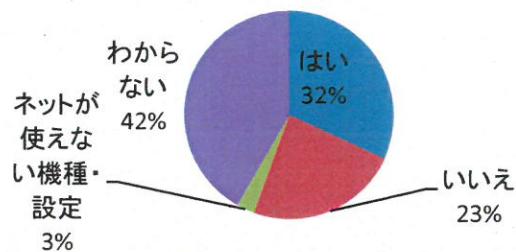
家庭のルールを守っているか



守っている子どもが約6割

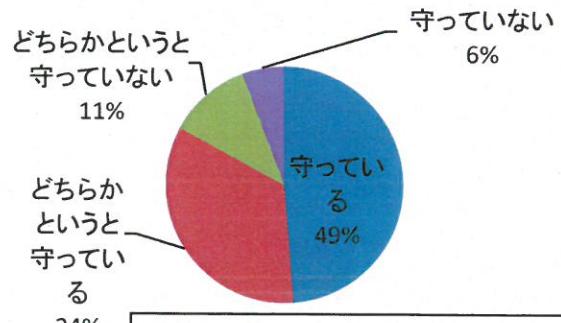
中学校（1年生～3年生）

フィルタリング設定をしているか



フィルタリング設定をしている子どもが約3割

家庭のルールを守っているか



守っている子どもが約5割

里ちゃんチャレンジ・ワールド「大原焼に挑戦」

体験教室作品展

開館日 令和3年3月 6日(土) 7日(日) 13日(土) 14日(日)

開館時間 午前9時～午後4時 入館無料

場所 里庄町歴史民俗資料館(里庄町新庄2405)

主催 里庄町教育委員会・里庄町文化財保護委員会

協力 大原焼プロジェクト

昨年の秋、中央公民館を会場に町内の小学生の参加のもと、大原焼体験教室を行いました。大原焼の歴史講義、制作活動を通して、地域文化の素晴らしさを学びました。

また、学区や学年を越えて、一緒に活動し協力して成し遂げる喜びを味わったり、新しい発見に触れたりして心を揺さぶられる経験の中で「生きる力」を育みました。あわせて、大原焼を伝承されている地域の方々との触れ合いの中でふるさとを愛する心を養いました。

今回の作品展の会場である資料館には江戸中期以降にこの地で制作された作品が展示されています。このたびの作品展とあわせまして、ふるさと里庄のすばらしさを感じながら鑑賞していただければ幸いです。

資料館前広場では、大原焼プロジェクトの方々が「土ひねり体験コーナー」を設け、親子でも、子どもだけでも(4年生以上)、大人も楽しめる企画をしてくださいます。お誘い合わせて、お越しください。

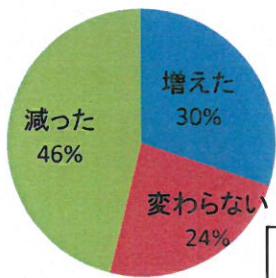
(文責:蜂谷 真治)



完成記念 「できたぞ! 笑顔一杯!」

小学校(4年生～6年生)

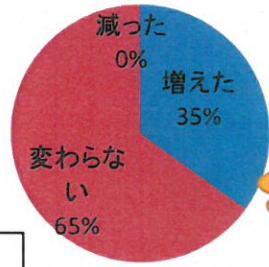
あなたは臨時休業中と今を比べて、スマートフォン等を使う時間はどのように変わりましたか



時間が増えた子どもが3割

中学校(1年生～3年生)

あなたは臨時休業中と今を比べて、スマートフォン等を使う時間はどのように変わりましたか



気になります!

「フィルタリング設定」の質問及び「家庭のルールを守る」質問は、例年より1割から3割ほどポイントが下がっています。新型コロナウイルス感染症対策で、自宅等で過ごす時間が長くなりましたが。そのことも影響しているのでしょうか、スマートフォン(携帯電話を含む)を使う時間が増加傾向にあります。増えた時間は、1～2時間が多いようですが、中には、3時間以上増えた子どももいました。